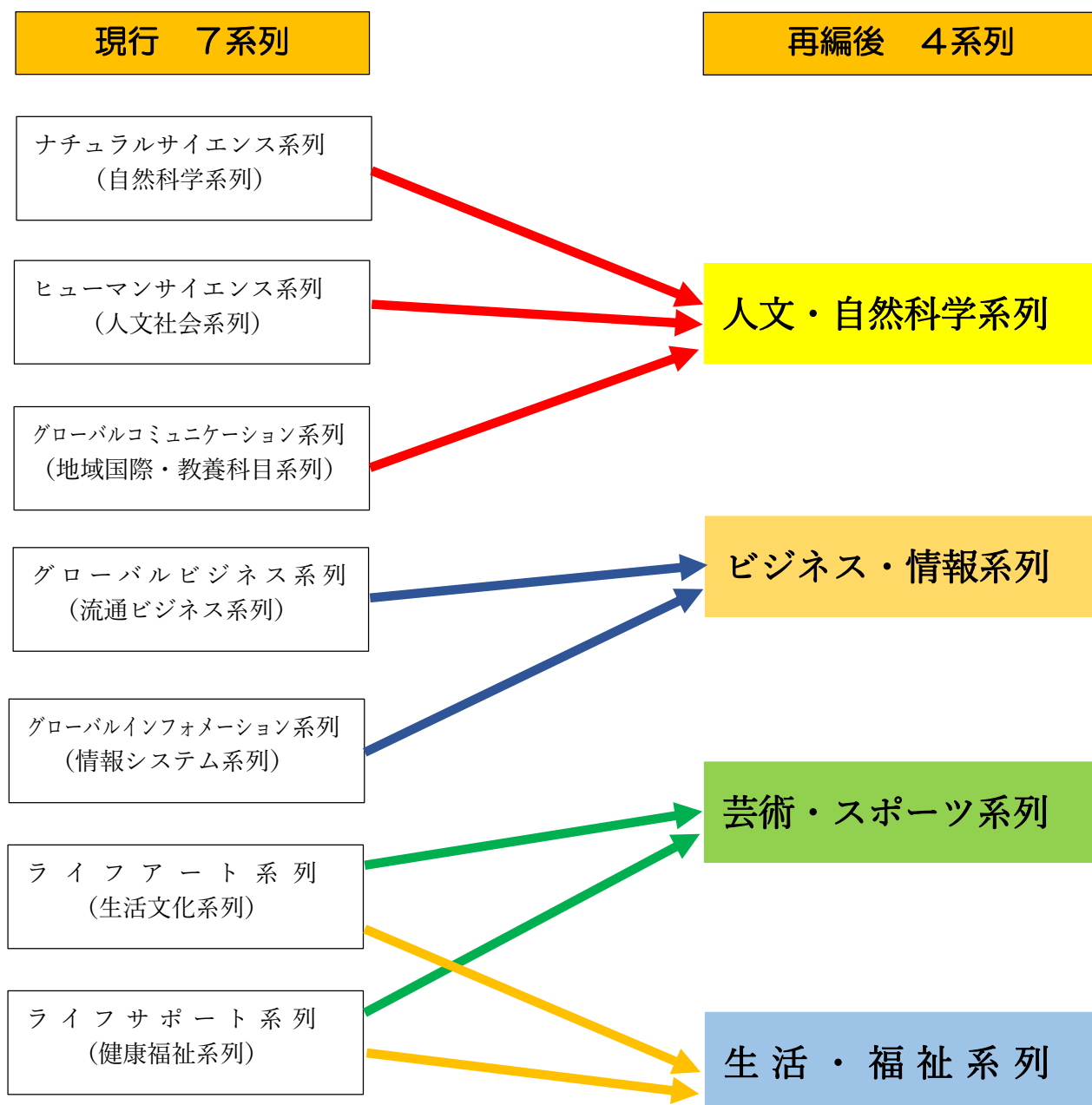


4. 新しく始まる翔陽の4系列

令和4年度（2022年度）、高校では新学習指導要領が年次進行で実施されます。それに合わせて本校では系列（関連する科目のまとまり）の再編を行いました。系列の科目配置のねらいをより明確化するとともに、生徒がキャリア発達を意識して科目選択ができるように各系列内の科目を系統的に整理し、併せて専門科目の充実を図りました。今までよりも「よりわかりやすく」「より選びやすく」なっています。

令和4年度（2022年度）から



5. 全科目一覧

学びたい科目や気になる科目がきっとあるはずです。中には「どんな勉強をするんだろう？」と思うものもあるのではないのでしょうか。

入学者全員に配布する「科目選択の手引き」には、学習内容や評価基準、履修に関する注意事項などが記載されています。きっと科目選択の強い味方になってくれるはずです。



必修科目

年 次	科 目
1 年次	現代の国語 言語文化 公共 数学Ⅰ 物理基礎 化学基礎 体育 保健 英語コミュニケーションⅠ 家庭基礎 情報Ⅰ 産業社会と人間 ※芸術（音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰから1科目選択履修）
2 年次	論理国語（上） 歴史総合 生物基礎 体育 保健 論理・表現Ⅰ（上） 総合学習
3 年次	論理国語（下） 地理総合 体育 論理・表現Ⅰ（下） 課題研究

選択科目

系 列	科 目
人文自然科学系列	国語表現Ⅰ 国語表現Ⅱ 現代文研究 文学国語Ⅰ 文学国語Ⅱ 古典探究Ⅰ 古典探究Ⅱ 小論文研究 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 基礎中国語 応用中国語 基礎ロシア語 応用ロシア語 政治・経済 倫理 日本史探究 世界史探究 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学C 数学研究A 数学研究B 物理 化学 生物 地学 地学基礎 物理基礎研究A 物理基礎研究B 生物研究 科学と人間生活
ビジネス・情報系列	簿記α 簿記β 簿記実務 原価計算 マーケティング 総合実践 財務会計Ⅰ ビジネス法規 コンピュータ会計 電卓応用計算α 電卓応用計算β ビジネス基礎 情報の表現と管理 情報産業と社会 プログラム言語基礎 ソフトウェア活用α ソフトウェア活用β ソフトウェア活用γ ソフトウェア研究 情報処理α 情報処理β 情報デザイン ネットワーク活用 CG
芸術・スポーツ系列	音楽Ⅱ ソルフェージュⅠ ソルフェージュⅡ 音楽理論 音楽史 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 合唱 音楽リズム DTM 美術Ⅱ 美術Ⅲ 美術表現 素描 構成 絵画 書道Ⅱ 創作書道 生活の書 クラフトデザイン 生活工芸 陶芸 スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツ概論 生涯スポーツ スポーツマネジメント スポーツメディカル レクリエーションスポーツ トレーニング エアロビクス
生活・福祉系列	保育基礎Ⅰ 保育基礎Ⅱ 保育実践 フードデザイン 地域と食 服飾手芸 ファッション造形基礎 ファッションデザイン 刺繍 生活と健康 生活教養 介護実践Ⅰ 介護実践Ⅱ 介護実践Ⅲ 基礎医学教養A 基礎医学教養B 保健医療福祉 健康福祉実践A 健康福祉実践B 社会福祉基礎A 社会福祉基礎B 福祉レクリエーションA 福祉レクリエーションB 手話言語

※多少変更になる場合があります。

「普通科単位制」との違い

「普通科単位制」の高校も総合学科と同じく「選択科目が多い」という共通点があります。何か違いはあるのでしょうか。

■ひとつは「選択科目の数」です。「北海道高校ガイドブック（北海道学力コンクール事務局 編）」によると、普通科単位制高校の選択科目数は75科目程度とあります。一方、総合学科は95科目程度となっており、本校では100科目以上を設置しています。北海道では最多、全国的にも科目数の多い学校です。

■総合学科に選択科目が多いのは、普通科単位制の選択科目が「普通科目（国・数・英など）」中心なのに対し、総合学科は普通科目の選択科目の他に、「専門科目（商業や福祉、家庭科など）」が多く含まれているからです。これにより多様な進路や興味関心に応じた時間割を作ることができるのです。

■ふたつめには「産業社会と人間」と「課題研究」という総合学科独特の学習活動があることです。いずれも「選択科目を考える」と「将来の進路を考える」ことに大きく関わってきます。

6. 科目選択の道しるべ ～産業社会と人間～

総合学科は、自分で科目選択をしなければならないので、将来の進路や自分自身の生き方を深く考えるために、「産業社会と人間」という科目が必ず設置されています。

科目選択に関する説明会や面談は「産業社会と人間（以下、産社）」の授業で実施します。



<企業上級学校見学会>

<「産社」の主な授業内容>

科目選択（2～3年次の科目を選ぶ）

- ・進路および科目選択ガイダンス
- ・教科別科目選択ガイダンス
- ・担任との面談など



車の両輪



キャリア学習（将来に対する自覚を高める）

- ・社会人講話
- ・企業上級学校見学会
- ・グループ発表学習
- ・出前講座 など

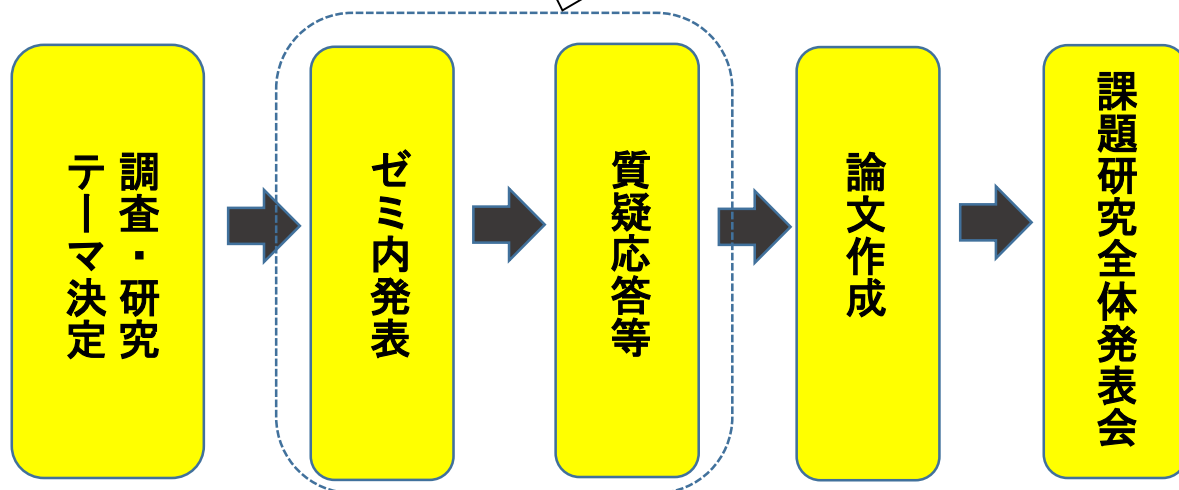
7. 総合学科の総まとめ ～課題研究～

本校では3年次生で実施します。この「課題研究」を「総合学科での学習の総まとめ」と位置づけています。授業はゼミ形式で行われ、活発な意見交換をする場面が見られます。



<課題研究全体発表会>

<課題研究の授業>



8. その他の特色ある学習環境

(1) 多彩な学習環境

1年次で学習する「数学Ⅰ」と「コミュニケーション英語Ⅰ」は2クラス3展開で授業を行い、きめ細かな授業を展開して、基礎基本の定着を図ります。施設面では、産業振興棟（PC約200台配備）、介護実習室、トレーニング室、多目的教室、LL教室、工芸室などが整備されています。

(2) 地域との連携（インターンシップ）

希望者を対象に、インターンシップ（就業体験）を夏休み中に実施しています。企業で実際に働く体験を通して「職業観」「就労観」を養い、自己を成長させることができます。

中学校で実施される職場体験よりも、より実務的な内容を体験することで、就職希望や進学希望の枠を超えて、将来の進路意識を明確にすることにつながります。



(3) 検定・資格取得への挑戦

専門科目を設置している総合学科は、検定合格・資格取得に強みを発揮します。一定の技能の証になるだけでなく、自分の積極性をアピールできます。大学入試では、推薦入学の審査項目として、高校時代の学習活動のみならず検定合格や資格取得の有無が大きなウエートを占めるようになっていきます。もちろん就職においては「即戦力」の証として、強みを発揮します。

